



— プラネタリウムの話題 (3/16 ~ 6/20) —

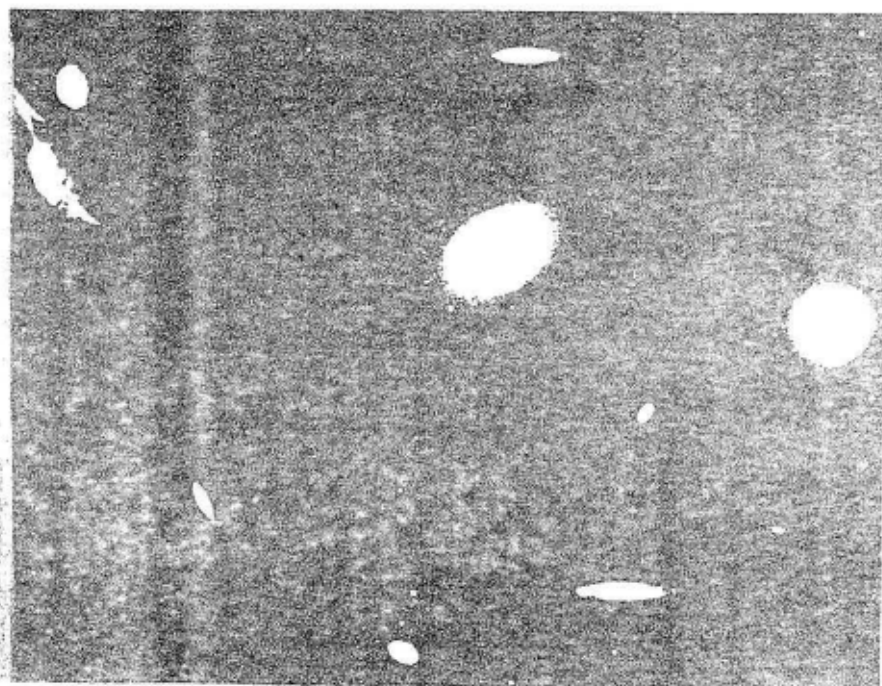
春の夜空を飾る星座に「おとめ座」があります。この星座は、太陽の通り道(黄道)にある星座なので星占いの星座として有名ですね。この「おとめ座」の一面を大きな望遠鏡で写真にとりますと、



＜おとめ座＞

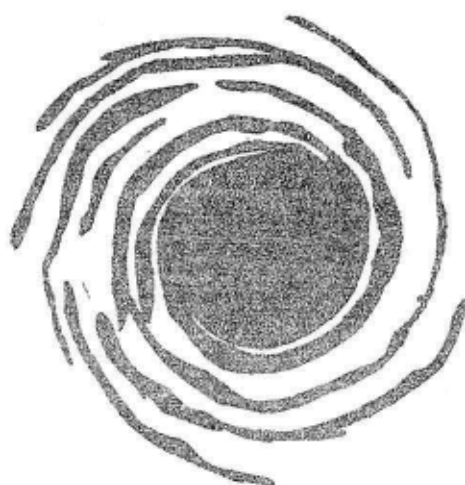
たくさんの銀河が写ります。これは「おとめ座銀河団」と呼ばれる銀河の大集団です。銀河というのは、太陽のような恒星が1億~1兆億も集まった星の大集団です。私達のいる銀河は特別に「銀河系」

＜おとめ座銀河団の一部＞



(点々が星で、面積をもったものが銀河。中央の大きな銀河は、長円銀河です。)

と呼ばれ、約1,000億個の恒星からできており、渦巻のような姿をしています。銀河は大きく3種類に分けることができます。すなわち「銀河系」のような渦巻銀河、星がだ円状に集まっただ円銀河、そして不規則な形をした不規則銀河です。「おとめ座銀河団」はだ円銀河が多いよう



＜銀河系の想像図＞

です。その中でM87^{メ87}と呼ばれるだ円銀河は、大きさが銀河系の約10倍もある巨大な銀河です。しかも中心から外に向かって、物質が放出されているような姿が見られます。これはM87の中心に星が集中しているので、そこで何かが起こっているからだと考えられています。仮説ですが、M87の中心では爆発が起こっているのではなからうか？とか、M87がこんなに大きくなったのは、まわりの銀河を吸収してしまった（共喰い）ためではなからうかという考えが出されています。

「おとめ座銀河団」は「銀河系」に一番近い銀河団で、約2500個の銀河が集まっています。宇宙は銀河団に属する銀河、属さない銀河がたくさん集まってつくられています。（M.W.）



富山市科学文化センター

富山市西中野町3丁目1番19号（〒930-11）

電話 富山(0764) 91-2123(代表)